

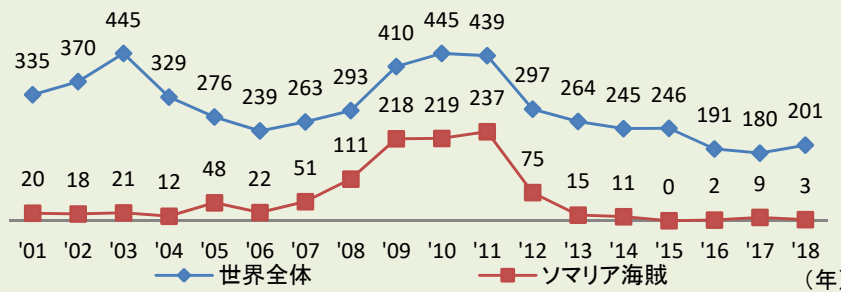
「2018年 海賊対処レポート」のポイント

平成31年3月
内閣官房

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処について、我が国では、自衛隊の部隊の派遣をはじめ、国際社会と協力して様々な取り組みを行っています。2018年のソマリア海賊の動向や我が国の取り組みとその成果等とをとりまとめました。

ソマリア海賊の現状

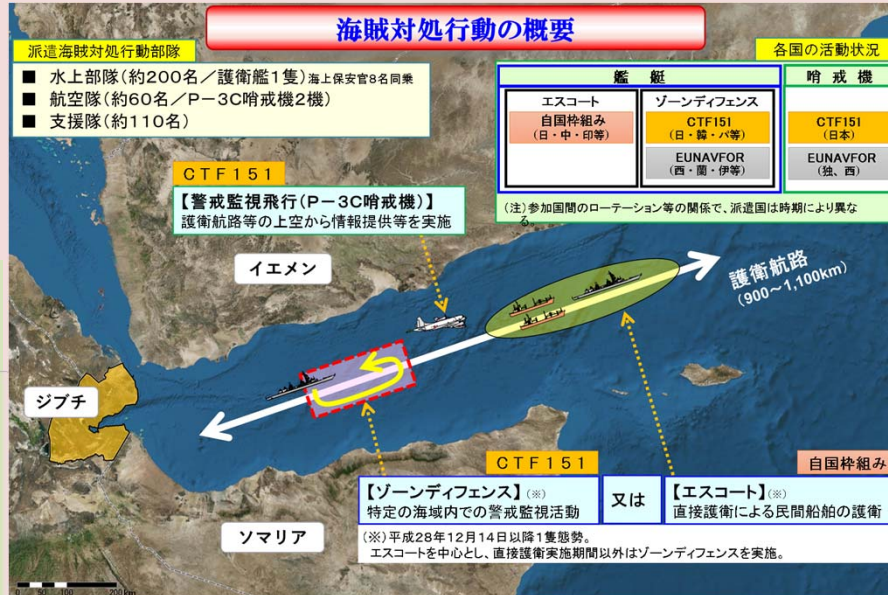
2018年のソマリア海賊事案発生件数は3件。日本関係船舶に対する被害は発生しませんでした。



我が国を含む国際社会の取り組みにより、発生件数は低い水準になりましたが、依然として状況は予断を許さず、継続した取り組みがなければ、再び大規模な海賊行為が発生するおそれがあります。

我が国の海賊対処行動

2009年6月、「海賊行為の処罰及び海賊行為への対処に関する法律」が成立し、同年7月から同法に基づく海賊対処行動として、自衛隊の部隊が、ソマリア沖・アデン湾において海賊行為に対処するための護衛活動及び警戒監視活動を行っています。



海賊多発海域における日本船舶の警備に関する特別措置法



海賊多発海域を航行する日本船舶において、国土交通大臣の認定を受けた特定警備計画に基づき、一定の要件を満たす民間武装警備員による乗船警備ができます。



旅客船を護衛する護衛艦

国際社会との連携・協力・交流



8月、日EU(スペイン海軍)海賊対処共同訓練

多国籍部隊司令官の派遣



4月、護衛艦「せとぎり」を視察する
CTF151司令官 梶元海将補

2018年の活動実績

- 護衛艦による護衛活動
護衛回数：29回
護衛隻数：38隻
- OP-3C哨戒機による監視活動
飛行回数：237回
飛行時間：約1,660時間
確認した商船数：約19,600隻
情報提供回数：約640回